

市長マニフェストに関する取組み 令和5年度取組実績及び令和6年度取組内容

ビジョン1 徹底した危機管理と災害に強い都市づくり

約束1 新型コロナウイルス感染症から市民の命と健康を守り、経済社会活動との両立を図ります。

No.	取組名	概要	主な取組内容	担当課	R5取組実績	R6取組内容
1	新型コロナワクチン接種体制の整備	希望する市民が迅速にワクチン接種を行える体制を整備するため、医師会の協力のもと、「個別接種」と「集団接種」を組み合わせて実施します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別接種の円滑な接種体制の確立</li> <li>・集団接種の接種会場確保及び円滑な運営</li> <li>・優先接種枠の設定・確保</li> <li>・接種対象者への広報</li> <li>・接種実績の把握</li> <li>・副反応（アナフィラキシー）の対応</li> </ul>	保健福祉局医療衛生部医療政策課 043-238-9941	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延接種実績（R6.4.1～R7.3.31） 407,681回</li> <li>・ワクチン接種体制 個別接種 約300か所 集団接種 最大2か所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料の特例臨時接種はR5年度で終了</li> <li>・R6年度以降は定期接種として実施 対象者 65歳以上の方等 実施期間 R6.10.1～R7.1.31 個別接種 約280か所</li> </ul>
2	PCR検査体制の確保	医療上必要な方が迅速かつ的確な検査を受けられるよう、行政検査の体制を強化するとともに、感染リスクが高い方に対する検査を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所における検査体制の強化</li> <li>・検査可能な医療機関の確保</li> <li>・高齢・障害者施設や接待を伴う飲食店等の関係者のPCR検査促進</li> </ul>	保健福祉局高齢障害部介護保険事業課 043-245-5254  保健福祉局高齢障害部障害福祉サービス課 043-245-5174  保健福祉局保護課 043-245-5241  保健福祉局医療衛生部健康危機管理課 043-245-5229	<ul style="list-style-type: none"> <li>【変異株に対する検査体制の強化】 ゲノム解析実施件数：257件</li> <li>【抗原検査：高齢者施設等の従事者向けスクリーニング検査及び感染発生施設等検査（従事者、入所者）】 対象施設等：高齢者施設等、障害者施設等、救護施設 約2,000か所 配付数：高齢者施設等 175,784個 障害者施設等 28,528個 救護施設 638個</li> <li>【高齢者施設等の新規入所者向けPCR検査】 対象者：高齢者・障害者等の入所施設の新規入所者 令和5年度検査人数※同一人物複数回含む 高齢 1,164人 障害 18人 保護 0人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲノム解析の実施</li> </ul>
3	病床の確保	新型コロナウイルス感染症患者の受入病床を確保するため、千葉県と連携し、新型コロナウイルス感染症受入医療機関の回復後患者の他院への転院等を促進するとともに、軽症者等の宿泊療養施設における受け入れ体制の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両市立病院での専用病床の確保</li> <li>・大学病院と連携した妊婦病床の確保</li> <li>・医療機関への転院受入協力金の支給</li> <li>・医療機関のニーズに合わせた、支給対象・支給額の見直しの検討</li> <li>・千葉県に対する転院受入協力金事業の実施要望</li> <li>・軽症者等の宿泊療養施設の確保</li> </ul>	市立海浜病院 043-277-7711  市立青葉病院 043-227-1131  保健福祉局医療衛生部医療政策課 （転院受入協力金等） 043-245-5203  保健福祉局医療衛生部健康危機管理課 （宿泊療養施設） 043-245-5229	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関への転院受入協力金の支給 0人 ※新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に変更になったR5.5.7に廃止</li> <li>・軽症者等の宿泊療養施設の確保 バーディーホテル千葉 受入室数：120 （受入期間：令和5年4月1日～5月7日） 宿泊療養施設の利用に関する千葉県との連携</li> <li>・青葉病院 5類移行においても、引き続きコロナ感染者を受け入れており、367人の入院患者を受け入れた。</li> <li>・海浜病院 県の方針に基づき病床を確保し、小児71人を含む196人の入院患者を受け入れた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青葉病院 県との「感染症法改正に係る医療措置協定」に基づき、県の要請により病床を確保及び重症者・中等症Ⅱ患者及び重症化リスクの高い患者受け入れの継続</li> <li>・海浜病院 県との「感染症法改正に係る医療措置協定」に基づき、県の要請により病床を確保</li> </ul>
4	感染症対策体制の強化	新型コロナウイルスに限らず、新興感染症等に即応できる体制を構築するため、組織体制の強化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス対策室の設置及び保健師等の増員</li> <li>・専門職の計画的な採用</li> <li>・他部署からの応援や業務委託を含めた体制立ち上げのマニュアル化、動員予定者に対する事前研修の実施</li> <li>・OB職員等の人材バンクの構築</li> <li>・自宅療養者健康観察センターの設置</li> </ul>	保健福祉局医療衛生部健康危機管理課 043-245-5229  保健福祉局医療衛生部 保健所感染症対策課 043-238-9927	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス対策室の運営（人材派遣・業務委託の活用） ※新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い5月7日まで実施。相談窓口事業は年度末まで継続</li> <li>・自宅療養者健康観察センターの運営（人材派遣・業務委託の活用） ※5月7日まで実施</li> <li>・千葉県感染症予防計画の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者施設など社会福祉施設への感染症対策の訪問指導</li> <li>・感染症予防の普及啓発</li> <li>・I H E A T要員への研修実施 実施回数4回 ※I H E A Tとは、感染症のまん延等の健康危機が発生した場合に、地域の保健師等の専門職が保健所等の業務を支援する仕組み</li> </ul>

市長マニフェストに関する取組み 令和5年度取組実績及び令和6年度取組内容

約束2 自然災害に強い都市づくりを進め、市民の安全と安心を確保します。

No.	取組名	概要	主な取組内容	担当課	R5取組実績	R6取組内容
5	市長直轄の防災体制整備	自然災害をはじめ様々な危機事案に対し、初動を一層迅速・的確に行うため、市長直轄の危機管理監を設置するなど危機管理・防災体制の一層の強化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・局長級の危機管理監の配置</li> <li>・危機管理部の設置と危機管理部長の配置</li> <li>・初動対応に特化した組織の設置</li> <li>・危機管理・防災に関する計画の見直し及び訓練等の実施</li> </ul>	総合政策局危機管理部危機管理課 043-245-5136  総務局総務部人事課 043-245-5033	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第44回九都県市合同防災訓練（千葉市会場）の実施</li> <li>・千葉市地域防災計画の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第45回九都県市合同防災訓練(千葉市会場)の実施</li> <li>・風水害対応図上訓練の実施</li> <li>・防災アセスメント調査（風水害被害想定調査）の実施</li> </ul>
6	消防防災ヘリコプターの更新と県市共同運航の実現	導入から20年以上経過した消防防災ヘリコプター「おとり2号」の更新を進めるとともに、航空消防力の強化及び運航経費の適正負担を実現するため、千葉県との共同運航体制の構築に向け協議を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防防災ヘリコプター「おとり2号」の更新</li> <li>・千葉県との共同運航体制の構築</li> <li>・千葉県からの維持管理経費財政負担の実現</li> </ul>	消防局総務部総務課 043-202-1633  消防局警防部航空課 043-292-9186	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防防災ヘリコプターの機体製造契約の実施</li> <li>・消防防災ヘリコプターの365日運航体制に向け、パイロット及び整備士を採用(R6年4月1日付け採用)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防防災ヘリコプター「おとり2号」の納入</li> <li>・計画的な新機体の操縦資格及び整備資格の取得</li> <li>・消防防災ヘリコプターの365日運航体制の実現</li> </ul>
7	消防団の加入促進、資機材等の整備	消防団員の加入を促進し地域の防災力を高めるため、処遇改善、PR活動を行うとともに、消防団の活動に必要な資機材や装備品を配置します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団員の処遇改善(年額報酬、費用弁償の増額)</li> <li>・加入促進のためのPR活動(マスコット、壁面ラッピング、チラシ、イベント等における広報活動)</li> <li>・必要な資機材、装備品の整備</li> <li>・大学・企業でのPR活動</li> </ul>	消防局総務部総務課 043-202-1635	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加入促進のためのPR活動（マスコット、チラシ、イベント等における広報活動）</li> <li>・必要な資機材、装備品の整備（防火衣、防火帽、防火長靴、消防団車両の更新3台、小型動力ポンプ1台）</li> <li>・器具置場改築（建築1棟、設計1棟）</li> <li>・大学でのPR活動、企業への勧誘チラシ配布</li> <li>・郵便局と連携し、郵便集配バイク、車両を活用した広報活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加入促進のためのPR活動（マスコット、チラシ、イベント等における広報活動）</li> <li>・必要な資機材、装備品の整備</li> <li>・器具置場改築</li> <li>・大学・企業でのPR活動</li> <li>・郵便局と連携し、郵便集配バイク、車両を活用した広報活動</li> </ul>
8	土砂災害の予防	急傾斜地法に基づき急傾斜地崩壊危険区域に指定された箇所について崩壊防止工事を進めます。また、土砂災害防止法に基づき区域指定された地域に対して、土砂災害ハザードマップを作成・配布するとともに、市政だよりやSNSなどを活用し、市民に啓発します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急傾斜地崩壊防止工事の実施</li> <li>・急傾斜地崩壊防止事業に関するPR（市政だよりやSNSなどによる広報）</li> <li>・土砂災害ハザードマップの作成・配布及び土砂災害に関する啓発（チラシ配布、市政だよりやSNSなどによる広報）</li> </ul>	総合政策局危機管理部防災対策課 043-245-5113  建設局下水道企画部総合治水課 043-245-5437  都市局都市部都市安全課 043-245-5337	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急傾斜地崩壊防止工事の実施（4カ所）</li> <li>・土砂災害ハザードマップ作製 対象区域等：約90箇所</li> <li>・出水期に合わせた啓発 チラシ配布世帯数：約12,000世帯、市政だよりやSNSなどによる広報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害ハザードマップ作製及び配布 対象区域等：約70箇所、配布世帯数：約1,600世帯</li> <li>・出水期に合わせた啓発 チラシ配布世帯数：約12,000世帯、市政だよりやSNSなどによる広報</li> <li>・急傾斜地崩壊防止工事の実施（4カ所）</li> <li>・がけ地近接等危険住宅移転助成の実施（対象住宅への周知・啓発）</li> </ul>
9	多様な避難形態への対応	感染症防止の観点から、避難施設における3密を回避するため、新たな避難施設の確保による分散避難や在宅避難等を推進します。また、災害時における要支援者の個別避難計画の作成により、要支援者の避難先をあらかじめ定めるなど、災害時要支援者の個別ニーズに対応します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな避難施設の確保、支援物資輸送網の確立</li> <li>・在宅避難（自宅、親戚宅、知人宅など）等の推進</li> <li>・災害時要支援者個別避難計画の作成促進</li> <li>・避難所への体温計・パーティション等の配備</li> </ul>	総合政策局危機管理部防災対策課 043-245-5113	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分散避難の推進 地域避難施設新規認定数 14件 車中泊避難施設新規確保数 8カ所</li> <li>・災害時要支援者個別避難計画の作成促進 福祉専門職等との連携による個別避難計画作成数 160件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分散避難の推進 車中泊避難の施設確保</li> <li>・避難行動要支援者個別避難計画の作成促進 福祉専門職等との連携による個別避難計画作成数 400件</li> </ul>

市長マニフェストに関する取組み 令和5年度取組実績及び令和6年度取組内容

ビジョン2 誰もが安心して、今日より明日がきつとよくなると思えるまちづくり

約束3 安心して子育てできる産前産後からの切れ目のない支援とICTを活用して個々の児童生徒に寄り添う教育を実践します。

No.	取組名	概要	主な取組内容	担当課	R5取組実績	R6取組内容
10	母子健康包括支援センターの充実	妊娠・出産・育児の切れ目のない支援を行う母子健康包括支援センターにおいて、専門職の資質向上や新たな配置を推進するとともに、相談からサービスの申請まで一元的に行える体制を整えます。	・産後うつや虐待の予防につながる支援会議の実施 ・妊娠後期の全数面接の実施 ・一人一人に寄り添った相談体制の強化（オンライン相談、予約制など） ・母子健康包括支援センターで受付可能なサービスの拡充	保健福祉局健康福祉部健康支援課 043-238-9925	・妊娠後期電子申請アンケート 回答率 75.9% 妊娠後期面接の実施 2,812件 （対面またはオンライン 2,258件、電話面接 554件） ・母子健康包括支援相談員の増員（R5.10月～） 各区1名、計6名増 母子健康包括支援センター電話相談 13,336件 母子健康包括支援センター面接相談 9,449件 ・妊娠・出産・子育て応援プランの掲載内容を追加	【妊娠・出産・育児の切れ目のない支援】 ・妊娠7～8か月の妊婦を対象に、電子申請にてアンケートを実施 妊娠後期面接の利用勧奨を実施 ・一人一人に寄り添った相談体制の強化 妊娠届け出時面接の際に配布している「妊娠・出産・子育て応援プラン」の掲載内容・活用方法の検討
11	保育所待機児童対策の推進、放課後児童対策の充実	増加する保育需要に対応するため、保育園の新設や幼稚園の認定こども園移行の支援、既存施設の定員変更などの施設整備や、民間保育園への賃借料の助成などを行います。また、民間事業者との連携強化により、子どもの預け先の選択肢を充実させます。	・民間保育園等の整備 ・賃借料の助成 ・子どもルームの整備・拡充、運営の質の確保（施設改修や受入枠見直しによる環境改善など） ・民間事業者との連携促進 ・アフタースクールの拡充	こども未来局幼児教育・保育部幼保支援課 043-245-5977  こども未来局こども未来部健全育成課 043-245-5177  教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課 043-245-5957	・民間保育園等の整備 ・子どもルームの整備・拡充、運営の質の確保 夏季休業時拡大枠の実施 施設整備 5か所 ・民間事業者との連携促進 運営助成 14事業者 医療的ケア児の受入助成 民間子どもルームの認知度・魅力向上 ・アフタースクールの拡充 実施校の拡充 R4：24校 → R5：34校 R6新規10校拡充に向けた開設準備 ・アフタースクールにおけるWi-Fi環境整備 20か所	・民間保育園等の整備 ・子どもルームの整備・拡充、運営の質の確保 夏季休業時拡大枠の実施 施設整備 7か所 ・民間事業者との連携促進 運営助成 15事業者 医療的ケア児の受入助成 民間子どもルームの認知度・魅力向上 ・子どもルームにおけるWi-Fi環境整備 64か所 ・アフタースクールの拡充 実施校の拡充 R5：34校→R6：44校 R7新規10校拡充に向けた開設準備 ・アフタースクールにおけるWi-Fi環境整備 6か所
12	保育の質の向上	幼児期における教育・保育の重要性を踏まえ、教育・保育のサービスの拡充と並行し、教育・保育人材の資質向上など、保育の質の確保を図ります。	・保育者の実態調査を踏まえた対応の検討・実施 ・保育環境の改善（民間保育園等の老朽化対策、園外活動の安全対策、使用済み紙おむつの処理等に係る助成など） ・教育・保育人材の確保、資質向上（外国人児童・保護者対応職員の配置など） ・市による認可・指導監査等	こども未来局幼児教育・保育部幼保支援課 043-245-5105  こども未来局幼児教育・保育部幼保運営課 043-245-5725  こども未来局幼児教育・保育部幼保指導課 043-245-3188	・園外活動の安全対策 キッズゾーン（路面標示）整備 32か所 キッズガード配置費用の助成 36園 ・使用済み紙おむつの処理に係る民間保育園等への助成221件 ・紙おむつ処理（病児・病後児保育事業） ・教育・保育人材の確保、資質向上 各種研修の実施 外国人児童、保護者対応職員の配置 ・幼児教育・保育人材支援センターの令和6年度に向けた開設準備 ・民間保育園等改築（改修）の助成 2か所	・園外活動の安全対策 キッズゾーン（路面標示）整備 キッズガード配置費用の助成 ・使用済み紙おむつの処理に係る民間保育園等への助成 ・各施設への教育・保育人材確保のための助成 ・幼児教育・保育人材支援センターの開設 ・公立保育所3歳以上児への主食提供 27か所 ・外国人児童、保護者対応職員の配置 5か所 ・各種研修の実施 ・民間保育園の大規模修繕 1か所
13	幼保小接続の推進、放課後健全育成事業における幼稚園との連携	幼稚園・保育所・認定こども園と小学校における子どもの発達や学びの連続性を確保するため、関係機関と連携し、幼児教育の推進体制を構築します。また、待機児童対策が必要な地域において、幼稚園の放課後健全育成事業への参入促進を図ります。	・アプローチカリキュラムの作成・普及 ・子ども同士の交流活動や職員の研修などを通じた、幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携・交流 ・園や小学校における取組みや家庭生活上の留意点について、家庭と保護者に対して啓発・支援 ・幼稚園も対象に含む放課後健全育成事業補助金のメニュー検討、拡充 ・幼稚園関係者に対する放課後健全育成事業の周知活動	こども未来局幼児教育・保育部幼保支援課 043-245-5100  こども未来局こども未来部健全育成課 043-245-5177	・アプローチカリキュラムの普及（啓発冊子によるカリキュラム作成手引きの案内） ・幼保小小間の連携・交流活動の普及・定着化 ・家庭と保護者に対する啓発・支援 ・幼稚園も対象に含む放課後健全育成事業補助金のメニュー検討 ・幼稚園関係者に対する放課後健全育成事業の周知	幼児教育から小学校教育への円滑な接続を図り、子どもの発達や学びの連続性を確保するため以下の取組みを実施 ・アプローチカリキュラム作成の普及 ・幼保小小間の連携・交流活動の普及・定着化、教職員同士の連携活動の実施 ・家庭と保護者に対する啓発・支援 ・幼稚園も対象に含む放課後健全育成事業補助金のメニュー検討、拡充 ・幼稚園関係者に対する放課後健全育成事業の周知活動
14	学校給食の無償化、学校給食を活用した食育の推進	多子世帯の子育てに対する経済的負担の軽減を図るため、第3子以降の義務教育期間における市立学校の学校給食費を無償化します。また、食に対する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けるため、児童生徒への食育の推進や「地産地消」学校給食の試食会を開催するとともに、学校給食への有機農産物の導入について検討します。	・第3子以降の学校給食費無償化 ・市内農産物を導入した学校給食の実施 ・「地産地消」学校給食の試食会開催 ・有機食材を活用した給食のモデル実施と有機栽培の良さを伝える取組み	教育委員会事務局学校教育部保健体育課 043-245-5945	・第3子以降の義務教育期間における市立学校の学校給食費を無償化 ・市内農産物を導入した学校給食の実施 市立学校164校 ・「地産地消」学校給食の試食会開催 6か所 ・有機食材を活用した給食のモデル実施と有機栽培の良さを伝える取組み 市立学校1校	・第3子以降の義務教育期間における市立学校の学校給食費を無償化 ・市内農産物を導入した学校給食の実施 市立学校164校 ・「地産地消」学校給食の試食会開催 6か所 ・有機食材を活用した給食のモデル実施と有機栽培の良さを伝える取組み 市立学校1校
15	児童相談所の体制強化	児童虐待対応件数の増加を踏まえ、児童相談所の組織体制の強化や専門性の更なる向上を図るため、児童相談所を2所体制とします。	・現施設内への2所目の児童相談所設置（将来的な施設新設検討） ・一時保護所の拡充 ・専門職の計画的な配置 ・保護児童生徒の学習機会確保	こども未来局こども未来部こども家庭支援課 043-245-5608  こども未来局こども未来部東部児童相談所 043-277-8820	・現施設内での2所目の児童相談所の運用を継続中 ・新・東部児童相談所移転整備等（一時保護所の拡充含む）に向けた庁内検討会議開催。 未広3丁目用地において新・東部児童相談所等を整備することとなった ・専門職の計画的な配置 ・一時保護児童の学習機会の確保（タブレットを使用した学習方法を導入）	・現施設内における東西二箇所体制の児童相談所運用を継続 ・未広3丁目用地において、新東部児童相談所（一時保護所の拡充含む）及び養護教育センター、発達障害者支援センター、こども発達相談室の3施設等を整備するための基本計画を策定
16	GIGAスクール構想の実現	ICTを活用した個々の児童生徒に寄り添う教育を実現するため、市立小・中・特別支援学校（小学部・中学部）に整備した1人1台タブレットPC等を活用することにより、協働的な学び、創造性を育む教育、効果的な個別学習などをより一層推進します。	・オンライン教育の推進 ・学習支援ソフトの活用による協働的な学びや理解度に応じた個別学習などの実施 ・ICT支援員の配置 ・教職員対象研修の開催 ・教職員支援ポータルサイトの作成 ・市立高等学校等における1人1台タブレットPC等の活用	教育委員会事務局学校教育部教育改革推進課 043-245-5936  教育センター 043-285-0900  教育委員会事務局学校教育部教育指導課 043-245-5981	・ギガタブの効果的な活用事例の収集及び紹介 ・家庭学習でのギガタブ活用、持ち帰りの推進 ・学習eポータル導入 ・リーディングDXスクール事業（小1校・中1校） ・運営支援センターの設置および市立学校166校へのICT支援員の派遣 ・教職員を対象としたICT教育の研修会の充実 ・教職員支援ポータルサイトに活用事例、研修資料等を掲載 ・市立高等学校等における校内wifi環境の運用保守	・ギガタブの効果的な活用事例の収集及び紹介 ・家庭学習でのギガタブ活用、持ち帰りの推進 ・学習eポータルの活用推進 ・リーディングDXスクール事業（小1校・中1校） ・運営支援センターを設置し、市立学校166校への支援を継続 ・教職員を対象としたICT教育の研修会の充実 ・教職員支援ポータルサイトに活用事例、研修資料等を掲載 ・市立高等学校等における校内wifi環境の運用保守

市長マニフェストに関する取組み 令和5年度取組実績及び令和6年度取組内容

No.	取組名	概要	主な取組内容	担当課	R5取組実績	R6取組内容
17	学校施設環境の整備	学校の環境向上を図るため、全市立学校の特別教室へのエアコン設置やトイレの洋式化などの改修を推進します。	・特別教室へのエアコン設置 ・洋式トイレへの改修、床のドライ化	教育委員会事務局教育総務部学校施設課 043-245-5916	・トイレ改修実施設計：26校 ・トイレ改修工事：30校	・トイレ改修工事：35校（全校完了）
18	フリースクールと学校との連携強化、フリースクールの運営支援	フリースクールと学校の連携を強化し、フリースクールの事業内容を保護者にわかりやすく情報提供を行います。 また、個々の児童生徒の状況に応じた多様な学びの場を提供するため、フリースクールへの事業委託や運営に対する助成を行うとともに、千葉県教育支援センター「ライトポート」やフリースクール等に通っている要保護・準要保護家庭に対する経済的支援を行います。	【フリースクールと学校との連携強化】 ・フリースクールへの事業委託 ・千葉県教育支援センター「ライトポート」等活動費・通所費の助成 ・小学生向けライトポートの開設 ・不登校児童生徒支援機関連携会議の開催 ・ホームページへのフリースクールの情報の掲載と学校への周知  【フリースクールの運営支援】 ・施設借上料の補助 ・教材・教具の整備、体験学習・実習費の補助 ・学習図書との貸与	教育委員会事務局学校教育部教育支援課 043-245-5935  教育センター 043-285-0900	【フリースクールと学校との連携強化】 ・フリースクール委託事業 1施設 ・千葉県教育支援センター「ライトポート」等活動費・通所費助成 12件 ・小学生向けライトポート3所開設（若葉、緑、稲毛） ・小学生向けライトポート全6所設備改修 ・市ホームページへのフリースクールの情報の掲載と学校への周知  【フリースクールの運営支援】 ・施設借上料の補助、教材・教具の整備、体験学習等の補助 10施設 ・学習図書との貸与 7件	【フリースクールと学校との連携強化】 ・フリースクールへの事業委託(委託事業者数：1施設→2施設) ・千葉県教育支援センター「ライトポート」等活動費・通所費の助成 ・小学生向けライトポート全6所開設完了、継続運営 ・市ホームページへのフリースクールの情報の掲載と学校への周知  【フリースクールの運営支援】 ・施設借上料の補助、教材・教具の整備、体験学習等の補助 ・学習図書との貸与
19	公立夜間中学の設置	様々な理由により義務教育を修了できなかった方や本国等で十分な教育を受けられなかった外国籍の方等の教育を受ける機会を実質的に保障するため、公立夜間中学を設置します。	・学習ニーズ調査の実施とカリキュラムの整備 ・市民説明会・個別相談会の開催 ・令和5年度開校に向けた準備（入学説明会の開催等）	教育委員会事務局学校教育部学事課 043-245-5926	・個別相談窓口（8/1～設置 利用者54名） ・オープンスクールの開催（8/24 参加者8名） ・学校説明会の開催（9/23、30 参加者計26名） ・学校体験14名 ・生徒募集の取組（ポスター・チラシ配架182カ所） ・卒業生6名（高校へ進学）	・個別相談（9/1現在の利用者32名） ・学校説明会の開催（8/3 参加者9名） ・R7生徒募集の取組（ポスター・チラシ配架184カ所） ・個別相談会（10/6,11/10） ・オープンスクールの開催（10/19） ・学校体験会（12/5～12/9）

市長マニフェストに関する取組み 令和5年度取組実績及び令和6年度取組内容

約束4 高齢者が生涯安心して暮らし、健康寿命を延ばせる社会を、障がいの種別、程度にかかわらず安心して暮らせる社会を創ります。

No.	取組名	概要	主な取組内容	担当課	R5取組実績	R6取組内容
20	介護保険施設等の計画的な整備	必要なサービスが必要としている高齢者に届く安心なサービス提供体制を目指し、介護保険施設等の計画的な整備を進めます。	【介護施設等の計画的な整備】 ・特別養護老人ホームの整備 ・認知症対応型共同生活介護の整備 ・介護専用有料老人ホームの整備  【在宅支援サービスの提供体制の整備】 ・（看護）小規模多機能型居宅介護の整備 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備	保健福祉局高齢障害部介護保険事業課 043-245-5254	【介護施設等の計画的な整備】 ・特別養護老人ホームの整備 R5年度開設施設 2施設（180人分） （R3選定）R4～5年度整備 2施設（180人分） （R4選定）R5～6年度整備 2施設（200人分） R5年度選定施設 3施設（128人分。内、増床2施設28人分）	【介護施設等の計画的な整備】 ・特別養護老人ホーム整備費助成 R5～6年度整備（R6年度開設予定）1施設（100人分） R6～7年度整備（R6・R7年度開設予定）3施設（128人分。内、増床2施設28人分） R7～8年度整備（概ねR9年度開設予定）最大220人分 ・介護専用有料老人ホーム 整備 R6～7年度整備 2施設58人分 ・認知症対応型共同生活介護の整備 R6整備 1か所 【在宅支援サービスの提供体制の整備】 ・（看護）小規模多機能型居宅介護の整備 R6整備 1か所 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備 R6整備 1か所
21	介護従事者の負担軽減	介護を要する高齢者の増加を踏まえ、介護職員の身体的、精神的な負担軽減及び業務効率化を図るため、介護ロボット・ICTの活用を促進します。	・介護ロボット・ICTを導入する場合の補助 ・介護事業者と介護ロボット開発事業者の連携支援	保健福祉局高齢障害部介護保険管理課 043-245-5206	・介護施設の大規模改修時における介護ロボット・ICTの導入補助 R5補助件数 3件 ・介護ロボット・ICT活用に関する施策動向や導入事例に関するセミナー、介護ロボットの展示会の開催 セミナー・展示会 1回 ・介護ロボット普及促進に係る検討会の開催 1回	・介護施設の大規模改修時における介護ロボット・ICTの導入補助 R6補助予定件数 5件 ・介護ロボット・ICT活用に関する施策動向や導入事例に関するセミナー、介護ロボットの展示会の開催 セミナー・展示会 1回 ・介護ロボット普及促進に係る検討会の開催 1回
22	介護者支援の強化	介護者の身体的・精神的負担の軽減を図るため、介護技術等を習得するための研修、介護を必要とする方や家族等が集う場の設置や、介護者が安心して相談できる窓口の設置・充実を図ります。また、ヤングケアラーの早期発見と早期対応に取り組みます。	・あんしんケアセンターの増設、専門職員（包括3職種）の適正配置 ・障害者本人やケアラーに係る相談及び障害福祉サービス等の案内の充実 ・ちば認知症相談コールセンターの運営 ・認知症カフェの設置促進 ・認知症介護講習会・交流会の開催 ・障害者福祉団体への補助、精神障害者ケアラーの支援 ・オンライン相談・レッスンの実施と効果的な広報 ・ヤングケアラーの実態調査 ・ヤングケアラーの早期発見、学校へのスクールソーシャルワーカー派遣 ・認知症初期集中支援チームの設置 ・ケアラー本人の負担軽減に向けた支援策の検討	保健福祉局健康福祉部地域包括ケア推進課 043-245-5266  保健福祉局高齢障害部高齢福祉課 043-245-5167  保健福祉局高齢障害部障害者自立支援課 043-245-5172  保健福祉局高齢障害部障害福祉サービス課 043-245-5228  保健福祉局高齢障害部精神保健福祉課 043-238-9972  保健福祉局高齢障害部こころの健康センター 043-204-1582	・あんしんケアセンターの包括3職種 R5：149人 ・あんしんケアセンターにおける総合相談件数123,359件 ・認知症施策における介護者支援 認知症相談コールセンター運営 相談件数：398件、面談件数：6件 認知症カフェの設置促進 認知症カフェ数：46、認知症カフェ主催者意見交換会 3回実施、 認知症カフェ開設支援研修会：1回実施、補助金交付件数：19件（新規：6件、継続：13件） 認知症介護講習会の開催 年4回（参加者：229人） 認知症介護交流会の開催 年6回（参加者：91人） 認知症初期集中支援チーム運営 6チーム 家族介護者支援事業 訪問レッスン 105件 オンラインレッスン 0件 居宅介護支援事業所等にチラシ・ポスターを配布し周知を実施 ②障害者福祉団体（身体・知的・精神）への補助 11団体（親の会：5団体 身障団体：6団体） ③障害者基幹相談支援センターと地域生活支援拠点の一体的な運営 ④障害者福祉団体（精神障害者家族会）への補助 4団体 ⑤精神障害者家族向け学習会（入門編） 2回開催（中央区・緑区）参加者13人 精神障害者家族向けSST（社会技能訓練） 6回開催 参加者延べ64人 ⑥広く市民にケアラーの実態や支援機関等の情報について周知するため、市政だより特集記事を掲載（2023（R5）年8月号） ・福祉、介護、医療、教育の関係機関職員向けに、年5回グループ形式での研修会を実施 ・ヤングケアラーに関する認知度向上と相談先等を紹介するリーフレットを作成し、市内の小・中・高校生に配付	・あんしんケアセンターにおける総合相談 ・認知症施策における介護者支援 認知症相談コールセンター運営 認知症カフェの設置促進 認知症介護講習会の開催 年4回 認知症介護交流会の開催 年6回 認知症初期集中支援チーム設置 6チーム  ①家族介護者支援事業 ・訪問レッスン・オンライン相談の継続実施と効果的な広報の実施 ②障害者福祉団体（身体・知的・精神）への補助 ③障害者基幹相談支援センターと地域生活支援拠点の一体的な運営 ④障害者福祉団体（精神）への補助 4団体 ⑤関係機関の連携による支援体制の強化【拡充】 精神障害者家族向け学習会（入門編）2回（稲毛区、若葉区） 精神障害者家族向け学習会年6回（偶数月）  ・福祉、介護、医療、教育の関係機関職員向けに、グループワーク形式での研修会を令和5年度に引き続き実施 ・ヤングケアラーに関する認知度向上と相談先等を紹介するパンフレットを作成し、令和5年度に引き続き、市立学校の小学5年生・中学1年生・高校1年生に配付 ・関係機関での情報共有や支援方針を検討する会議の場に、必要に応じて、有識者（スーパーバイザー）を派遣
23	高齢者の身近な移動手段の確保	各地域の移動に関するニーズを把握し、新たなモビリティや住民の助け合いなど様々なツールを組み合わせ提供することで、高齢者が生涯安心して暮らせる地域の実現に貢献します。	・福祉有償運送の事業者に対する助成（モデル事業）の検証による制度の充実 ・階段の昇り降りが困難な高齢者等を対象とした階段昇降機の取得費用・運用経費等の助成 ・“公共交通不便地域”等における地域交通の導入に向けた検討 ・新たなモビリティに係る実証実験	保健福祉局高齢障害部高齢福祉課 043-245-5167  都市局都市部交通政策課 043-245-5351  総合政策局未来都市戦略部国家戦略特区推進課 043-245-5375	・福祉有償運送事業立上、運営経費助成 立上補助：0団体、運営補助：2団体 ・高齢者等階段昇降支援 導入支援：5事業所、運営支援：1事業 ・令和5年3月より開始した乗合タクシーの社会実験を継続して実施。 さらに、令和6年度へ向けて運行エリアを拡大し、社会実験を行うための運行計画に係る手続きを実施 ・グリーンスローモビリティ（実証調査：2地区、実証調査準備：1地区） ・自動運転モビリティに係る実証実験	・福祉有償運送の事業者に対する助成（モデル事業の継続） ・階段の昇り降りが困難な高齢者等を対象とした階段昇降機の取得費用・運用経費等の助成（モデル事業の実施） ・令和5年3月より開始したデマンド型交通の社会実験は、本格運行に向け、地元交通対策協議会を中心に議論 ・「下大和田・上大和田地区」及び「大椎台地区・大木戸台地区」でデマンド交通を実施 ・令和5年度にグリーンスローモビリティの実証調査を行った2地区について、本格導入を行うとともに、幕張ベイタウン地区における実証調査を実施する。 ・自動運転モビリティに係る実証実験
24	生涯現役応援センターの機能強化	高齢者の社会参加を促進するため、生涯現役応援センターにおいて、高齢者のニーズに応じた情報提供を行うとともに、相談体制の充実を図ります。	・高齢者に適した就労、ボランティア活動・地域活動先の開拓 ・出張相談、アウトリーチの強化等の検討 ・高齢者のセカンドライフに対する意識変容やライフデザインの支援等をテーマとしたセミナーの開催 ・ICTを活用した情報発信、相談体制の構築	保健福祉局高齢障害部高齢福祉課 043-245-5167	・高齢者に適した就労、ボランティア活動地域活動先の開拓 ・出張相談回数：100回 ・相談件数：637件（うち出張相談件数：230件） ・マッチング件数：307件 ・高齢者のセカンドライフに対する意識変容やライフデザインの支援等をテーマとしたセミナーの開催（6回872人） ・ICTを活用した情報発信（ホームページ）、相談体制の実施（ホームページからの相談やセミナー申込み）	・高齢者に適した就労、ボランティア活動・地域活動先の開拓 ・出張相談 100回 ・高齢者のセカンドライフに対する意識変容やライフデザインの支援等をテーマとしたセミナーの開催 ・ICTを活用した情報発信、相談の実施
25	新病院の整備、新病院へのアクセス整備	市内における中核的な病院として総合的な医療を提供するため、地域の医療機関等と連携・役割分担しながら、現海浜病院の機能を基盤とした医療機能の強化・集約化により、少子超高齢社会に求められる新病院を整備します。	・新病院整備（基本計画策定、設計、建設工事） ・用地取得 ・新病院へのアクセス向上に向けた交通事業者などへの情報提供及び意見聴取等 ・胎児から高齢者まで切れ目のない医療を提供できる診療科の整備 ・救急医療の強化（ER型救急の体制整備など）	病院局経営企画課病院整備室 043-245-5741  都市局都市部交通政策課 043-245-5351  総合政策局未来都市戦略部国家戦略特区推進課 043-245-5375	・新病院整備（実施設計完了、建設工事着手） ・新病院へのアクセス向上に向けた交通事業者などへの情報提供及び意見聴取等 ・胎児から高齢者まで切れ目のない医療を提供できる診療科を整備するための運用体制の検討 ・救急医療の強化に向けた運用検討、関係機関との調整 ・新病院開院に向けての医療機器等の検討 ・自動運転モビリティに係る実証実験（再掲）	・新病院整備（建設工事） ・胎児から高齢者まで切れ目のない医療を提供できる診療科の整備 ・救急医療の強化（ER型救急の体制整備など） ・新病院開院に向けての医療機器等の検討及び情報ネットワークの構築（設計着手） ・新病院へのアクセス向上に向けた交通事業者などへの情報提供及び意見聴取等 ・自動運転バスに係る実証実験

市長マニフェストに関する取組み 令和5年度取組実績及び令和6年度取組内容

No.	取組名	概要	主な取組内容	担当課	R5取組実績	R6取組内容
26	がん検診の受診率向上、特定健康診査の受診率の向上、がん治療と仕事の両立支援	がん検診の受診率向上のため、受診メリットの啓発や検診漏れがないような支援体制を整備するとともに、がんに関する情報発信や精神的なサポートにより、がん患者を支援します。 また、国民健康保険加入者に対し、特定健康診査の受診率向上や、特定健康診査を受けずに職場や自費健診を受けた人の健診結果の把握に取り組みます。	【がん検診の受診率向上】 ・受診率に着目した周知啓発 ・罹患率が高い年齢層など対象者を絞った効果的な再受診勧奨 ・集団がん検診の予約システムの構築  【特定健康診査の受診率の向上】 ・特定健康診査の未受診者勧奨、継続受診の促進 ・職場や自費健診を受けた人の健診結果の把握  【がん治療と仕事の両立支援】 ・医療用ウィッグ購入費用助成 ・海浜病院における精神的サポート・生活に関する支援 ・青葉病院における患者支援の充実 ・がんに関する情報発信	保健福祉局健康福祉部健康支援課 (がん検診) 043-238-9930 (特定健康診査) 043-238-9926  保健福祉局健康福祉部健康推進課 043-245-5223  市立海浜病院 043-277-7711  市立青葉病院 043-227-1131	【がん検診の受診率向上】 ・がん検診受診率 49.8% (令和4年国民生活基礎調査実績) ・集団がん検診時のこどもの見守り回数を25回実施 (令和4年度4回) ・受診率向上に向けた取組み ①集団がん検診の予約システムの運用およびコールセンターの設置 ②ナッジを活用した啓発を実施 中学2年生約7,810人 美容室329施設 郵便局98局 イオン2箇所 等 ③対象者を絞りナッジを活用した効果的な再勧奨を実施  【特定健康診査の受診率向上】 ・特定健康診査受診率33.3% (R6.9現在) ①対象者の特性に合わせた未受診者勧奨 (はがき、SMS) ②職場健診や自費で健診を受けた人の健診結果の把握 健診結果提供者への謝礼等送付件数：192件 ③リーフレットやポスターを作成し、健診の周知・啓発を実施  【がん治療と仕事の両立支援】 ・アピアランスケア支援事業 (ウィッグ等、胸部補整具、エピテーゼの購入費用助成) ウィッグ等購入費用助成件数 378件 胸部補整具購入費用助成件数 28件 エピテーゼ購入費用助成件数 3件  【青葉病院】 ・がん相談支援センター及びがん看護外来での相談の実施。 ・他職種連携による緩和ケアチームの介入を実施。  【海浜病院】 ・相談支援センター (がん看護外来兼務) に両立支援コーディネーターを2名配置。 また、MSW (メディカルソーシャルワーカー) から1名を研修に派遣した。 ・がんに関する相談と支援の体制を充実強化するため、相談支援センターの増員と各診療科および病棟との連携体制を強化した。 ・がん患者・家族への支援を退院後も継続して行ため、地域の在宅医療提供機関との連携強化を行った。 ・がん予防、仕事との両立支援に関する市民への情報発信を行った。 (出前講座の再開、オンライン公開講座のコンテンツ追加など)	【がん検診の受診率向上】 ・集団がん検診時のこどもの見守り回数を増加する。 ・未受診者への効果的な受診勧奨の継続実施 ・検診事業の受診率向上に向けた勧奨の実施  【特定健康診査の受診率の向上】 ・未受診者への効果的な受診勧奨の継続実施 ・職場や自費健診を受けた人の健診結果の把握 ・健診事業の受診率向上に向けた勧奨の実施  【がん治療と仕事の両立支援】 ・アピアランスケア支援事業 (ウィッグ等、胸部補整具、エピテーゼの購入費用助成)  【青葉病院】 ・がん相談支援センター及びがん看護外来の継続、多職種連携による緩和ケアチームの体制維持  【海浜病院】 ・相談支援センター (がん看護外来兼務) に治療と仕事の両立支援コーディネーター2名の育成 ・がんに関する相談と支援の体制を充実強化するため、各診療科および病棟、関係職種との連携体制を強化。 ・がん患者・家族への支援を退院後も継続して行ため、地域の在宅医療提供機関との連携強化 ・がん予防、仕事との両立支援に関する市民への情報発信 (出前講座の再開、オンライン公開講座のコンテンツ追加など)
27	発達障害への支援の推進	発達障害のある方を、成長に合わせて一貫して支援する体制を構築します。	・保育所、学校、児童相談所などの関係機関の連携による幼少期から成人期まで一貫した支援体制の構築 ・発達障害者に対する相談支援体制の充実 (療育相談所の心理判定員及び発達障害者支援センターの巡回相談員の増員など) ・関係機関が連携しやすい仕組みづくり ・強度行動障害者に対する支援や理解の促進	保健福祉局高齢障害部障害者自立支援課 043-245-5172  障害者自立支援課子ども発達相談室開設準備室 043-245-5394  保健福祉局高齢障害部障害福祉サービス課 043-245-5227  養護教育センター 043-277-0101	教育相談:1,581件、電話相談:994件、学校訪問相談:362回、特別支援教育指導員配置:88校 ・特別支援連携協議会 (6/1) ・実務担当者会議 (7/3、9/12、2/6) ・千葉市発達障害等に関する巡回相談事業 実績 訪問施設数 189件 ・子ども発達相談室の開設準備 専門職員の採用活動、相談室の賃借、相談室設置改修等を実施	・子ども発達相談室開設 R6年11月千葉ポートサイドタワー内に子ども発達相談室を開設予定 ・教育相談、電話相談、学校訪問相談、特別支援教育指導員配置:88校、特別支援連携協議会(6/3)、実務担当者会議(3回) ・発達障害児者の理解促進 ・強度行動障害者への実態調査を実施
28	地域での障害者支援体制の構築	障がい者の高齢化、親なき後を見据え、障がい者の生活を地域全体で支える体制を整えます。	・障害者グループホーム等の整備や運営に係る費用助成 ・障害者基幹相談支援センターの充実 (専門職の増員など) ・成年後見支援センターの運営 ・成年後見制度利用支援の推進	保健福祉局高齢障害部障害者自立支援課 043-245-5172  保健福祉局健康福祉部地域包括ケア推進課 043-245-5266  保健福祉局高齢障害部障害福祉サービス課 043-245-5228	・重度強度行動障害者受入れに要する費用の助成 (R5:1名) ・障害者基幹相談支援センターと地域生活支援拠点の一体的な運営 ・成年後見支援センターの運営 1か所 ・千葉市発達障害等に関する巡回相談事業 実績 訪問施設数 189件 ・子ども発達相談室の開設準備 専門職員の採用活動、相談室の賃借、相談室設置改修等を実施 ・成年後見制度利用支援 実績 市長申立助成 16件 報酬費助成 88件	・重度強度行動障害者受入れに要する費用助成 ・障害者基幹相談支援センターと地域生活支援拠点の一体的な運営 ・子ども発達相談室開設 R6年11月千葉ポートサイドタワー内に子ども発達相談室を開設予定 ・成年後見支援センターの運営 1か所 ・成年後見制度利用支援
29	障害者雇用の促進	障害のある方の就職率向上を図るため、市の障害者雇用の拡大や事業者の障害者雇用の促進などを実施します。	・チャレンジオフィスちばし (障害者ワークステーション) の拡充 ・市職員採用試験 (障害者) の受験上限年齢引き上げの検討 ・障害者就業支援キャリアセンターの運営参画	総務局総務部人事課 043-245-5033  保健福祉局高齢障害部障害者自立支援課 043-245-5172  保健福祉局高齢障害部障害福祉サービス課 043-245-5228  経済農政局経済部雇用推進課 043-245-5278	・チャレンジオフィスちばしのスタッフを増員 スタッフ (定員) R4:9人→R5:12人 (+3人)  ・障害者就業支援キャリアセンターの運営参画  ・重度障害者等の雇用や就労継続を支援するため、通勤や職場等において必要となる支援に要する経費を助成 ・障害者実習事業の拡充 (2,000円/月→5,000円/月)	・チャレンジオフィスちばしの継続実施 スタッフ (定員) 12人 支援員 4人 ・フロアサポートスタッフの新規実施 スタッフ (定員) 6人 業務調整員 2人 ・障害者就業支援キャリアセンターの運営参画 ・障害者実習事業の実施 ・重度障害者等の雇用や就労継続を支援するため、通勤や職場等において必要となる支援に要する経費を助成

市長マニフェストに関する取組み 令和5年度取組実績及び令和6年度取組内容

約束5 次世代に持続可能な社会をつないでいくとともに、相手を尊重し相互に分かり合える共生社会を創ります。

No.	取組名	概要	主な取組内容	担当課	R5取組実績	R6取組内容
30	航空機騒音問題への対応	市民が良好な環境のもとで日常生活を過ごせるよう、引き続き、航空機騒音の実態を把握するとともに、国に対し騒音対策を求めていきます。	・千葉市内の航空機騒音の状況把握（航空機騒音測定、苦情の状況の整理・公表など） ・国への要望活動（本市上空への集中解消、騒音軽減対策の検討・実施、市民への丁寧な説明など） ・国の対応状況の確認及び再要望検討	環境局環境保全部環境規制課 043-245-5191	・千葉市内の航空機騒音の状況把握 航空機騒音測定（常時測定4地点、短期測定（夏・冬）1地点） 苦情の公表（毎月の苦情件数をホームページで公表 R5合計77件） ・国への要望活動 国の予算編成時に合わせ実施する「令和6年度国の施策及び予算に対する重点要望」で要望（R5.7.6） 県・関係市町による連絡協議会を通じた要望（R5.7.27、R5.12.21） ・国の対応状況の確認及び再要望検討 国の対応状況を県・関係市町による連絡協議会等で確認 「国の施策及び予算に対する重点要望」における要望事項を検討	・千葉市内の航空機騒音の状況把握 航空機騒音測定、苦情の公表など ・国への要望活動 騒音対策に係る予算への要望 県・関係市町による連絡協議会を通じた要望 年2回 ・国の対応状況の確認及び再要望検討
31	動物愛護の推進	ひとと動物の共生する社会を目指すため、ボランティアとの連携、協働体制等を構築するとともに、現状の動物愛護行政の課題を踏まえた対応を図りながら、動物保護指導センターの再整備に向けた準備を進めます。	・ボランティアや関係団体等との意見交換会の継続開催（現状の動物行政に対する課題や将来のセンターのあり方などの整理） ・意見交換会での意見を踏まえた有識者懇談会の開催 ・センター再整備に向けた整備基本計画の策定 ・基本設計・実施設計の着手	保健福祉局医療衛生部生活衛生課 043-245-5215	・ボランティアとの連携・協働 ボランティアと職員が参加する研修会の開催 1回 ・動物保護指導センターにおける動物の収容環境の改善 猫の馴化部屋の整備 ・傷病動物の治療体制の拡充（市獣医師会への委託） 治療頭数 33頭 ・動物保護指導センターの再整備に向けた準備 有識者懇談会の開催 2回 千葉市動物愛護管理行政のあり方の策定(R6.3)	・ボランティアとの連携、ボランティア支援の継続 研修、意見交換などの実施 飼い主のいない猫の不妊去勢手術 ・譲渡の推進に向けた収容動物管理体制の改善 犬のトレーニング外部委託体制の整備 ・動物保護指導センターの再整備に向けた準備 整備基本計画の策定
32	女性活躍の支援、男性の育児休暇取得促進、男性の育児・家事・介護などへの参加の促進	性別に関わらず、市民が自分らしく、幅広い分野で活躍できるよう、女性が働きやすい環境の整備や男性の育児・家事等への参画の促進を図ります。	【女性活躍の支援】 ・女性のキャリア形成支援のための女性職員向けの研修の充実 ・働き方改革に向けた勤務環境の整備 ・男女共同参画推進協議会等を通じた庁内の意識の向上  【男性の育児・家事・介護などへの参加の促進】 ・ダイバーシティ推進セミナーの開催 ・中小企業の事業主及び対象となる男性労働者に対する奨励金の支給 ・本市男性職員の育児休業取得状況調査及び結果の庁内共有と研修や刊行物による内容等の周知	市民局生活文化スポーツ部男女共同参画課 043-245-5060  総務局総務部人事課 043-245-5032  総務局総務部給与課 043-245-5037  保健福祉局健康福祉部健康支援課 043-238-9925  こども未来局幼児教育・保育部幼保支援課 043-245-5105	【女性活躍の支援】 ・女性活躍推進アドバイザー派遣 3社（14回派遣） ・女性リーダー育成セミナー 1回（10人参加） ・女性の活躍・キャリア開発促進研修の実施 ・男女共同参画推進協議会の開催  【男性の育児・家事・介護などへの参加の促進】 ・ダイバーシティ推進セミナー オンライン開催 1回 ・本市男性職員の育児休業取得状況の調査を実施し、結果を庁内で共有。 ・新規採用職員研修や所属長研修、庁内刊行物で制度内容等の周知。 ・土日開催の両親学級の開催 年18回（基本編12回、フォローアップ編6回） パートナーの参加人数：延べ341人 ・母親＆父親学級の開催 年46回 パートナーの参加人数：延べ1,104人 母親＆父親学級で使用するテキストの見直し ・母乳教室 年26回 パートナーの参加人数：延べ40人 ・中小企業の事業主及び対象となる男性労働者に対する奨励金の支給 23件 ・子育て中の男性職員等が意見交換・交流する機会を提供	【女性活躍の支援】 ・女性活躍推進アドバイザー派遣 ・女性リーダー育成 ・女性の活躍・キャリア開発促進研修の実施  【男性の育児・家事・介護などへの参加の促進】 ・本市男性職員の育児休業取得状況の調査を実施し、結果を庁内で共有。 ・新規採用職員研修や所属長研修、庁内刊行物で制度内容等の周知。 ・子育て中の男性職員等が意見交換・交流する機会を提供 ・ダイバーシティ推進セミナーの開催 年1回 ・土日開催の両親学級の開催 年18回（基本編12回、フォローアップ編6回） ・母親＆父親学級の開催 年44回 ・学級開催時に使用するテキストの見直し ・母乳教室への父親参加推奨 ・引き続き、男性の育児休業取得促進奨励金を支給
33	共生社会の実現	性別・年齢・国籍・障害の有無などに関わらず、全ての市民が個人として尊重され多様性を認め合う共生社会を実現するため、パートナーシップ宣誓制度や障害者に対する理解促進、外国人市民が安心して暮らし働けるための支援などを行います。	・パートナーシップ宣誓制度の運用 ・LGBT理解促進のための講座を開催 ・プロスポーツと連携したLGBT周知啓発活動 ・LGBT専用相談の実施 ・福祉講話の拡充 ・障害者作品展の開催 ・障害者福祉大会の開催 ・ヘルプマークなど障害者マークの普及啓発 ・多文化共生のまちづくり推進指針の見直し ・コミュニケーション支援（外国人総合相談窓口、多言語・やさしい日本語による各種情報の提供、地域日本語教育の推進） ・多文化共生の意識醸成	市民局生活文化スポーツ部男女共同参画課 043-245-5060  保健福祉局高齢障害部障害者自立支援課 043-245-5172  市民局市民自治推進部国際交流課 043-245-5017	・パートナーシップ宣誓制度の運用 宣誓件数：45件 ・7月に市川市・船橋市・松戸市・習志野市・柏市と都市間連携の協定を締結 ・LGBT理解促進のための講座を開催 開催回数：1回 ・ジェフのホームタウン千葉市デーでLGBT周知啓発活動を実施。 啓発物品配布数：4,000個 ・LGBT専門相談の実施 相談件数：54件 ・コミュニティ通訳・翻訳サポーター制度の運営 ・LINEを活用した外国人相談 ・地域日本語教育の推進 ・千葉市国際交流プラザ（外国人総合相談窓口）運営 ※R4年度に配置した多言語対応タブレット端末の管理運用を含む。 ・福祉講話の実施【実績 34回】 ・障害者作品展の開催【10/6～10/11の6日間】 ・障害者福祉大会の開催 ・ヘルプマークなど障害者マークの普及啓発 ・市政だより特集号における障害者差別等に係る啓発	・パートナーシップ宣誓制度の運用 ・LGBT理解促進のための講座を開催 ・プロスポーツと連携したLGBT周知啓発活動 年1回 ・LGBT専門相談の実施 ・多様な性への理解促進 ・福祉講話の実施 ・障害者作品展の開催 ・障害者福祉大会の開催 ・ヘルプマークなど障害者マークの普及啓発 ・コミュニティ通訳・翻訳サポーター制度の運営 ・LINEを活用した外国人相談 ・地域日本語教育の推進 ・日本語教室など国際交流・協力活動団体への助成（拡充） ・千葉市国際交流プラザ（外国人総合相談窓口）運営 ・次期多文化共生推進アクションプラン策定に向けた外国人市民アンケートの実施
34	脱炭素化の推進	2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、市内における再生可能エネルギーの導入促進、環境教育、普及啓発などの取組みを進めています。	・地球温暖化対策実行計画の策定 ・地域における使用電力の再エネ化推進 ・市民・事業者向け助成制度の拡充等 ・環境教育等基本方針の推進及びちばし気候危機行動キャンペーンなどの普及啓発の充実	環境局環境保全部脱炭素推進課 043-245-5199	・地球温暖化対策実行計画の推進 脱炭素先行地域事業の実施 脱炭素アドバイザー派遣の開始 ・地域における使用電力の再エネ化推進 太陽光設備及び蓄電池共同購入事業の実施 ・市民・事業者向け助成制度の拡充等 住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金の実施 中小事業者向け省エネルギー設備導入促進事業補助金等の実施 ・環境教育等基本方針の推進 環境学習重点実施校、環境教育教材作成、環境カレンダー作成、環境教育講座、木育おもちゃ作成、地球環境保全ポスター、ESD研修、環境キャラクターコンテスト、プログラミングコンテストの実施 ・ちばし気候危機行動キャンペーンなどの普及啓発の充実 エコポイント制度の実施等 木育推進事業	・地球温暖化対策実行計画の推進 脱炭素先行地域事業の実施 （R8からの市有施設の電力消費に伴うCO2排出実質ゼロの実現を発表） 脱炭素アドバイザー派遣 脱炭素推進パートナー支援制度 ゼロカーボンアクションの実施 ・地域における使用電力の再エネ化推進 太陽光設備及び蓄電池共同購入事業の実施 ・市民・事業者向け助成制度の拡充等 住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金 中小事業者向け省エネルギー設備導入促進事業補助金等 ・環境教育等基本方針の推進 環境学習重点実施校、環境教育教材の作成、環境カレンダーの作成、環境教育講座の実施、地球環境保全ポスター、ESD研修の実施、事業提案コンテスト、木育推進事業 ・ちばし気候危機行動キャンペーンなどの普及啓発の充実 エコポイント制度の実施等

市長マニフェストに関する取組み 令和5年度取組実績及び令和6年度取組内容

ビジョン3 雇用を生み出す自立した経済圏の確立と都市の基盤整備

約束6 経済の好循環を創り出し、市内企業の成長と安定的な雇用を生み出します。

No.	取組名	概要	主な取組内容	担当課	R5取組実績	R6取組内容
35	事業者の安定的な経営維持の支援	市内事業者が、新型コロナウイルス感染症による環境変化に対応し、安定的に事業を継続できるよう、財政的な支援やICT化への支援等を行います。	・コロナ禍における中小企業者への支援金 ・国・県の支援を踏まえた市独自の支援策を検討 ・ニューノーマルな生活モードに対応した事業継続支援 ・企業の事業変革や業態転換、ICT化への支援	経済農政局経済部産業支援課 043-245-5277	・事業変革促進支援 2件 ・ICT活用生産性向上支援 9件 ・千葉市エネルギー価格高騰対策支援金（R5年度分）支給事業者数 第1弾：9,408者 第2弾（R5分）：2,333者	ICT導入や業種・業態転換など事業変革への取組みを支援
36	企業立地の促進、国家戦略特区の活用	地域経済の活性化を図るため、企業立地や市内企業の投資を促進するとともに、国家戦略特区制度を活用した新事業の創出を図ります。	・企業立地にかかる補助金 ・企業立地促進融資 ・企業立地イベントの実施（企業立地セミナー、オフィスビル合同内覧会） ・産業用地の整備促進 ・規制改革メニューの活用や新規規制改革提案による経済産業環境の整備	経済農政局経済部企業立地課 043-245-5679  総合政策局未来都市戦略部国家戦略特区推進課 043-245-5375	・企業立地にかかる補助金 認定件数 41件 ・企業立地促進融資 1件 ・企業立地イベントの実施 2回 （企業立地セミナー1回、オフィスビル合同内覧会1回） ・産業用地整備支援事業 審査会開催 3回 ・規制改革メニューの活用や新規規制改革提案による経済産業環境の整備	・企業立地にかかる補助金 ・企業立地促進融資 ・企業立地イベントの実施（企業立地セミナー、オフィスビル合同内覧会） ・産業用地の整備促進 ・規制改革メニューの活用や新規規制改革提案による経済産業環境の整備
37	トライアル発注の拡充、創業支援の強化	市内企業の活性化を図るため、市内事業者が提供する優れた新製品および新サービスを市が認定し、PRなどにより販路拡大を支援するトライアル発注認定事業の拡充や、起業・業務効率化をワンストップで支援する体制の整備を行います。	・トライアル発注の重点テーマ設定 ・トライアル発注認定商品のPR動画作成、見本市等出展費用助成の拡充による販路拡大 ・トライアル発注認定商品の購入予算・試験導入対象拡充 ・千葉市産業振興財団が創業者やベンチャー企業などに行っている情報提供機能（ワンストップサービス） ・相談体制の強化 ・創業者支援の対象拡充	経済農政局経済部産業支援課 043-245-5284	・トライアル発注認定事業 認定商品 15件 商品のPR動画及びカタログ作成 15商品分 認定商品の庁内試験導入 産業交流展出展 ・事業所向け相談機能の強化（ワンストップ無料相談窓口）281件 ・創業支援補助金 26件	・新規性の高い優れた商品を購入、評価など販路開拓を支援 ・事業所向け相談機能の強化（ワンストップ無料相談窓口） ・創業支援補助金
38	技術・技能職の雇用促進	ものづくり企業の人材不足の解消や就職氷河期世代の非正規労働者等の正規雇用化を図るため、求職者向けの就業支援やものづくり企業とのマッチングを行うとともに、市内の技術系学校（ポリテクカレッジ千葉）の学生の市内就職促進などを行います。	・ものづくり企業への就業支援（就職氷河期世代向けの事業説明会・研修の開催、ものづくり基礎セミナーの実施） ・合同企業説明会の実施 ・ポリテクカレッジ千葉卒業後、市内企業に就職し一定期間勤務した方に対する奨学金返還サポート	経済農政局経済部雇用推進課 043-245-5278	・ものづくり企業への就業支援（ものづくり基礎セミナー、ステージアップセミナーの実施） ものづくり基礎セミナー参加者48人 ステージアップセミナー参加者31人 ・ものづくり技術者合同企業説明会 参加企業数 15社、参加学生数 69人 ・ポリテクカレッジ奨学金返還サポート 交付候補者認定数1人、交付件数1件	・ものづくり企業への就業支援（ハロートレーニングの簡易版セミナー「スキル習得セミナー」を実施） ・千葉商工会議所との共催による、ものづくり技術者合同企業説明会 ・奨学金返還サポート（制度周知、交付候補者認定、令和2～3年度認定者への補助金交付）
39	キャリア教育の充実	子どもたちが、社会的・職業的自立に向け必要な能力や態度を身に付けられるよう、産学官が連携し、キャリア教育を支援します。	・キャリア教育の推進のための、関係者との連携（キャリア教育推進連携会議の開催等） ・職業体験学習の推進 ・キャリア教育に関する大学との共同研究 ・キャリア教育充実のための資料作成（副読本や冊子など） ・アントレプレナーシップ教育の推進	教育委員会事務局学校教育部教育改革推進課 043-245-5936  経済農政局経済部雇用推進課 043-245-5278	・キャリア教育の推進 キャリア教育推進連携会議の実施（3回） 千葉市キャリア教育基本方針「未来を拓くキャリア教育」策定 ・職業体験学習の推進 ・キャリア教育に関する大学との共同研究 ・キャリア教育充実のための資料作成 技術職・技能職の魅力啓発冊子・動画 中学校副読本改訂 千葉市の専門高校を紹介するリーフレットの作成 ・アントレプレナーシップ教育の推進（ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアムの運営） 5事業を実施（西千葉子ども起業塾、千葉市動物公園PR動画作成、起業家教育ワークショップ、学校用服装の提案（ZOZO出前授業）、出前授業（ひな社長の挑戦））	・関係者との連携 ・千葉市のキャリア教育新基本方針に基づいた授業実践等の推進、実践事例の収集 ・職業体験学習の推進 ・キャリア教育充実のための資料作成 技術職・技能職の魅力啓発冊子・動画 中学校副読本改訂 千葉市の専門高校を紹介するリーフレット作成 ・アントレプレナーシップ教育の推進（ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアムの運営）
40	MICEの推進	幕張新都心における国際会議やイベントを通じた地域経済の活性化を図るため、多様な開催形態に応じた誘致・開催支援や地域への経済効果の波及に向けた取組みを行います。	・イベントの誘致・開催に向けた補助制度の新設及び営業体制の構築 ・出展者のニーズを踏まえた多様なMICE分野への対応 ・多様なMICE開催形態に応じた経済波及効果の創出（集客拡大による消費喚起、市内事業者のオンラインPRなど）	経済農政局経済部観光MICE企画課 043-245-5282	・グリーンMICE開催支援補助金 5件	・多様な開催形態に応じた補助制度の運用（令和5年度に新設した「グリーンMICE開催支援補助金」に基づく開催支援及び誘致）

市長マニフェストに関する取組み 令和5年度取組実績及び令和6年度取組内容

約束7 1次産業の生産性を向上し、農商工連携を進めます。耕作放棄地を再生して新たな担い手を育成します。里山の食と体験を活性化します。

No.	取組名	概要	主な取組内容	担当課	R5取組実績	R6取組内容
41	スマート農業の推進、農商工連携	経営感覚に優れた農業者を育成するため、スマート農業技術の活用推進、普及に取り組むとともに、農業技師の指導力の強化を図ります。 また、市内事業者を活性化させるため、農業者と加工・流通業者等の連携を進めます。	【スマート農業の推進】 ・農政センターを実証フィールドとして整備 ・アグリテック企業と連携したスマート農業技術実証を拡大 ・スマート技術活用研修の実施 ・農業者への経営サポートの支援 ・スマート農業機器導入補助、シェアリングサービスの検討・実施  【農商工連携】 ・グループ参入の促進 ・市内産農産物を使用した商品開発	農政センター農業経営支援課 043-228-6273  農政センター農業生産振興課 043-228-6280  経済農政局農政部農地活用推進課 043-245-5769  経済農政局農政部農政課 043-245-5758	【スマート農業の推進】 ・スマート農業技術を活用した研修の実施 3回 ・農政センターリニューアル施設整備 トマト栽培用ハウス2棟整備 ・燃油削減技術の実証（イチゴ） ・スマート農業技術実証 技術実証実施 2社 ・データ活用型農業技師の育成研修 1回 ・スマート農業展示会の開催 1回 ・スマート農業機器のレンタル 6件  【農商工連携】 ・グループ参入への支援 0件 ・6次産業化支援補助 1件	【スマート農業の推進】 ・スマート農業技術を活用した研修の実施 ・農政センターリニューアル施設整備 イチゴ育苗用設備整備 1棟 ・燃油削減技術の実証（トマト） 太陽光発電設備及び省エネ機器等の整備 ・スマート農業技術実証 技術実証実施 ・スマート農業展示会の開催 1回開催 ・スマート農業機器のレンタル実施  【農商工連携】 ・農業者と食品加工業者等が連携した、グループでの参入を支援（農地の賃借料、施設整備費等の補助）
42	農政センターにおける担い手の育成、耕作放棄地の再生	新たな農業の担い手の育成を図るため、農業経営に関する講習会の実施や、経営改善に向けた支援を行います。また、耕作放棄の進行を防ぐため、耕作者、土地所有者の両面から、再生・整備に係る支援を行います。	・先進農業者就農支援プログラム等、各種研修及び講習会の実施 ・農業次世代人材投資資金・農業生産団地育成事業等、各種補助事業の実施 ・農業法人参入促進等の誘致活動 ・耕作者への支援（耕作放棄地整備、農地銀行活動支援など） ・土地所有者への支援（耕作放棄地活用検証事業の実施）	農政センター農業経営支援課 043-228-6273  農政センター農業生産振興課 043-228-6282  経済農政局農政部農地活用推進課 043-245-5769,5759	・新規就農希望者向け研修（ニューファーマー育成研修・新規就農希望者研修等研修・雇用就農希望者研修） 12回 ・経営開始資金（農業次世代人材投資資金） 交付件数 個人：16人、夫婦：3組 ・新規就農地再生支援事業 交付件数 4件 ・未来の千葉市農業創造事業（新規就農支援タイプ） 交付件数 4件 ・経営能力・販路拡大講座 1回 ・未来の千葉市農業創造事業（経営拡大支援タイプ）大型機械等導入コース 3件、 小型機械等導入コース 10件 ・農業法人参入促進等の誘致活動（令和4年度、令和5年度に選定した法人への継続的支援、 新たな誘致対象法人の選定、参入戦略策定支援、参入候補地地権者との調整） ・耕作者への支援 3件（1.74ha） ・土地所有者への支援 0件	・先進農業者就農支援プログラム（ニューファーマー育成研修）、 新規就農希望者研修等及び講座の実施・検討 ・経営開始資金（農業次世代人材投資資金）の交付、 経営発展支援事業・未来の千葉市農業創造事業（新規就農支援タイプ） ・新規就農地再生支援事業の実施 ・未来の千葉市農業創造事業（経営拡大支援タイプ）大型機械等導入コース、小型機械等導入コース （過年度に選定した法人への継続的支援、新たな誘致対象法人の選定） ・耕作者への支援（生産規模を拡大して耕作放棄地を再生する農業者等への再生費用助成） ・土地所有者への支援 （農業法人への農地貸借に向けて耕作放棄地を再生する農地所有者への再生費用助成）
43	農福連携の推進	農政センターで、有機農業に関する講習会を実施するとともに、障害者等が農業分野で活躍することを通じて、自信や生きがいをもって社会参画が実現できるよう、意欲ある農業者や社会福祉法人等に対して農福連携に向けた支援を行います。	・有機農業に関する講習会の実施 ・農福連携の施策など認知度の向上 ・農福連携に意欲ある農業者とのマッチング ・社会福祉法人等への農地確保支援	農政センター農業生産振興課 043-228-6279  経済農政局農政部農政課 043-245-5757  経済農政局農政部農地活用推進課 043-245-5765  保健福祉局高齢障害部障害者自立支援課 043-245-5172	・農政センター内に有機ほ場を設置 ・社会福祉法人等への農地確保支援 実績なし ・有機農業勉強会の開催 1回 ・農福連携に意欲ある農業者とのマッチング ・社会福祉法人等への農地確保支援 ・障害者就労事業振興センターの運営参画（農福連携に意欲ある農業者とのマッチング） 市内障害者福祉施設でのマッチング実績 1件	・有機農業勉強会開催 ・有機ほ場での栽培実証 ・社会福祉法人等への農地確保支援 ・障害者就労事業振興センターの運営参画（農福連携に意欲ある農業者とのマッチング）
44	食のブランド化、地産地消推進	本市産品の付加価値の向上、市内農業や食品関連事業者の競争力強化を図るため、市民が誇れる食のブランドとして、「千葉市食のブランド「千」」を確立します。 また、本市農業と農村地域の活性化を図るため、消費者、飲食店等事業者、生産者の信頼関係の構築による地産地消の取組みを推進します。	【食のブランド化推進】 ・認定品ラインナップ充実 ・認定品PR、販路拡大、ふるさと納税返礼品への活用  【地産地消推進】 ・「つくたべ」推進店の拡大 ・「つくたべ」推進店や農業者に関する情報発信	経済農政局農政部農政課 043-245-5758  経済農政局農政部農政課 043-245-5757  経済農政局農政部農政課 043-245-5765	【食のブランド化推進】 ・食のブランド「千」の認定事務局運営、新規認定品創出10件 ・認定品のプロモーション、認定書授与式の開催 ・料理教室の開催 オンライン1回（12月）、対面2回（7月、2月） ・プロモーションツールの作成（販促物、スチール写真） ・レシピサイトにおけるレシピ掲載、SNS、トレインチャンネルでの情報発信  【地産地消推進】 ・つくたべBOXの販売 4回（400セット） ・学校給食出張事業 7回 ・土気からし菜販売会 2回 ・つくたべHP、SNS（X、Instagram、LINE）での情報発信	【食のブランド化推進】 ・食のブランド「千」の認定事務局運営、ブランド認定 ・認定品のプロモーション、販路拡大支援  【地産地消推進】 ・「つくたべ」推進店の拡大 ・「つくたべ」推進店や農業者に関する情報発信 ・地産地消PRイベントの実施
45	災害からの速やかな復旧支援	大型台風等自然災害時に、農業者への注意喚起等の情報や農作物・農業施設等への被害を迅速に把握する体制を確保するとともに、被災した農業者へ速やかな支援を行います。	・被害状況を把握する体制の確保 ・農業者への災害に備えた情報提供 ・被災した農業者への支援（国・県等補助事業などの活用、発電機の貸出体制の確保）	農政センター農業生産振興課 043-228-6279  経済農政局農政部農政課 043-245-5764	・令和5年5月に土地改良区等に対して災害復旧対応フローと自然災害の対応について事前周知及び注意喚起を実施 ・被害状況を把握する体制の確保 ・農業者への災害に備えた情報提供 ・令和5年9月発生 of 台風13号により被災した土地改良区等が所有する揚水機の修繕にあたり、 国庫補助事業を活用 ・発電機の貸出体制の確保	・土地改良区等への災害復旧対応フロー周知、災害が予期される場合の事前の注意喚起 ・被害状況を把握する体制の確保 ・農業者への災害に備えた情報提供 ・被災した農業者への発電機の貸出体制の確保

市長マニフェストに関する取組み 令和5年度取組実績及び令和6年度取組内容

約束8 都市の基盤整備と先端技術を活かした未来都市の実現をめざします。

No.	取組名	概要	主な取組内容	担当課	R5取組実績	R6取組内容
46	幕張新都心まちづくり将来構想の策定、ZOZOマリンスタジアムの今後の検討	これまで幕張新都心のまちづくりを担ってきた千葉県旧企業庁の事業収束を踏まえ、本市がこれまでに以上に主体的にまちづくりに取り組んでいくため、概ね20～30年後の将来を見据えたまちづくりの指針を示す幕張新都心まちづくり将来構想を策定します。また、今後のZOZOマリンスタジアムの将来像を示す基本構想、将来像を具体化していくための基本計画を策定します。	【幕張新都心まちづくり将来構想】 ・庁内検討会議、有識者や地元関係者による懇話会及び住民・企業向けワークショップの開催 ・令和4年6月頃を目途に将来構想を策定  【ZOZOマリンスタジアムの今後の検討】 ・千葉県を始めとした関係者と協議・検討を行い、幕張新都心まちづくり将来構想を踏まえた基本構想・基本計画を令和6年度を目途に策定	総合政策局未来都市戦略部幕張新都心課 043-274-8648  総合政策局未来都市戦略部マリンスタジアム再整備推進課 043-245-5269	【幕張新都心まちづくり将来構想】 ・まちづくり機運醸成 公式Instagramの開設、各SNSによる地域情報やイベント情報などの情報発信、まちの魅力発信イベントの開催（1回）・各地区間の連携促進 ・エリアマネジメント促進 エリアマネジメント立上げに向けた基本方針（目的・目標、体制・事業・財源）の検討、地域関係者との検討会の開催（4回）、シンポジウムの開催（1回）  【ZOZOマリンスタジアムの今後の検討】 ・基本構想の策定に着手（～令和6年度）	【幕張新都心まちづくり将来構想】 ・幕張新都心まちづくり連携促進 エリアマネジメント組織の立ち上げに向けた検討支援・実証実験の実施 SNS等による情報発信（地域の取組みやイベントなど、幕張新都心のまちづくりに関する情報）や各地区間の連携促進  【ZOZOマリンスタジアムの今後の検討】 ・基本構想の策定 ・基本構想を具体化するための基本計画に着手（～令和7年度）
47	千葉駅東口再開発、千葉駅周辺のまちづくりの推進	本市の玄関口である千葉駅前の活性化、市民の利便性の向上、良好な都市環境の形成を図るため、千葉駅東口再開発を支援します。また、歴史的資産を活かした「千葉らしさ」を感じるまちづくりのため、中央公園や通町公園、千葉神社を一体的にとらえ、通町公園の再整備を進めます。	・市街地再開発組合に対する補助 ・市街地再開発組合に対する指導、監督 ・通町公園予定地の用地取得 ・通町公園の再整備工事	都市局都市部市街地整備課 043-245-5325  都市局都市部まちづくり課 043-245-5327	・市街地再開発組合に対する指導、監督 ・通町公園予定地の用地買収に係る物件移転補償費算定等 ・通町公園整備基本・実施設計等	・優良建築物等整備事業に対する補助 ・通町公園予定地の用地取得等 ・通町公園の再整備工事等
48	蘇我副都心のまちづくりの推進、JR稲毛駅東口のまちづくりの推進	蘇我副都心の玄関口に相応しい都市基盤の整備を行うため、駅前広場と駅前商業地を一体的に再編するとともに、駅前広場を拡幅し、交通ネットワークの強化を図ります。また、JR稲毛駅東口について、地域拠点に相応しい都市基盤の整備を行うため、駅前広場と駅前商業地の街区を一体的に再編し、駅前広場を拡幅します。	・JR蘇我駅東口及びJR稲毛駅東口の駅前広場周辺における市街地再開発事業及び事業化を想定した駅前広場の検討 ・JR蘇我駅周辺からフクダ電子アリーナまでのエリアにおける、ジェフユナイテッド千葉を身近に感じるまちづくりの推進	都市局都市部市街地整備課 043-245-5325	・JR蘇我駅東口の再開発事業に関する関係地権者勉強会実施 ・JR稲毛駅東口の既存駅前広場に関する改善方策検討	・JR蘇我駅東口の再開発事業検討に対する支援など ・JR稲毛駅東口の課題改善のための駅前広場計画策定に向けた検討
49	新たな湾岸道路の整備	港湾機能の強化や湾岸地域の渋滞緩和等を図るため、新たな湾岸道路の整備を促進します。	・国が行う計画段階評価の進捗に応じ、都市計画決定や環境アセスメントの手続きに向けた調査・検討	建設局道路部道路計画課 043-245-5290	・国の計画段階評価の進捗に応じた調査・検討 ・（仮称）検見川・真砂スマートインターチェンジ詳細設計等 ・一般国道357号検見川立体予備設計	・国の計画段階評価の進捗に応じた調査・検討 ・（仮称）検見川・真砂スマートインターチェンジ詳細設計等 ・一般国道357号検見川立体予備設計
50	県水道との一体化・広域化の検討	市営水道の経営の安定化を図るため、県営水道との経営の一体化、広域化を検討します。	・県との協議（県が令和4年度に策定する「水道広域化推進プラン」に市営水道との統合案が盛り込まれるよう働きかけ）	水道局水道事業事務所 043-291-5462	「千葉県と千葉市の連携推進会議」での議論を踏まえた千葉県との協議を行った。	・「千葉県と千葉市の連携推進会議」での議論を踏まえた千葉県との協議（経営安定化に向けた事業統合や実現可能な広域連携について）
51	スマートシティの推進	テクノロジーの活用などにより、市民生活の質の向上を図るとともに、持続可能なまちづくりを進めるため、「千葉市スマートシティ推進ビジョン」に基づき、多様な主体とともに取組みを推進します。また、自動運転、ドローン等の未来技術を活用した市民サービスについての実証実験を実施しつつ、得られた成果や課題を国と共有し、必要に応じて規制緩和等の提案を行います。	・千葉市スマートシティ推進ビジョンの策定及び取組みの推進 ・自動運転、ドローン等の未来技術を活用した市民サービスの導入 ・民間提案総合窓口「コネクテッドセンターちば」の開設・運営	総合政策局未来都市戦略部スマートシティ推進課 043-245-5362  総合政策局未来都市戦略部国家戦略特区推進課 043-245-5375	・「千葉市スマートシティ推進ビジョン」に基づく取組みの推進 先進的なテクノロジーを活用した地域資源（千葉氏）のPRや市民窓口サービスにおける生成AIを活用したコミュニケーションサービスの実証を実施 高齢者向けスマホ講座を80回、1対1のスマホ相談会を26回実施 ・自動運転モビリティ、ドローン等のサービス導入に向けた実証実験等の実施 ・「コネクテッドセンターちば」での事業提案受付 42件（うち採用9件）	・「千葉市スマートシティ推進ビジョン」に基づく取組みの推進 民間企業等が行う地域課題の解決に向けた取組みなどを支援 高齢者等のデジタル活用に向けた取組みを推進 ・自動運転モビリティ、ドローン等のサービス導入に向けた実証実験等の実施 ・「コネクテッドセンターちば」における課題設定型の民間提案募集、提案促進のための周知及び補助金の活用

市長マニフェストに関する取組み 令和5年度取組実績及び令和6年度取組内容

ビジョン4 地域のつながりを高め、豊かな感性を磨き、誇りを持てるまちづくり

約束9 市民活動や文化・芸術・スポーツ活動を支援し、世界に挑戦する千葉市ゆかりのアーティスト・アスリートを応援します。

No.	取組名	概要	主な取組内容	担当課	R5取組実績	R6取組内容
52	市民活動への支援の充実、文化芸術活動への支援と世界に挑戦する市ゆかりのアーティストの育成支援、スポーツ活動への支援の充実とアスリート等の育成支援	持続可能なまちづくりの体制を構築するため、町内自治会等、地域で活動する団体への支援の充実や、担い手の育成、地域課題の解決に向けた多様な主体の連携を進めます。 また、世界に挑戦する市ゆかりのアーティスト・アスリートの育成支援や、市内を中心に活動する芸術文化団体が行う芸術文化事業やスポーツ活動を支援します。	【市民活動への支援の充実】 ・地域で活動する多様な主体による連携促進のための仕組みづくりと地域活動団体の活動支援 ・ボランティアに関する情報ネットワークの充実  【文化芸術・スポーツ活動への支援、アーティスト・アスリート等の育成支援】 ・アーティスト、アスリート等の新たな育成支援の体制検討 ・千葉市芸術文化振興事業補助金の制度の見直しと募集の継続 ・千葉市芸術文化新人賞の募集 ・芸術祭の定期開催 ・市ゆかりのアーティスト・アスリート等の広報 ・ジュニア育成競技力向上 ・ジュニア育成プログラム ・バラスポーツやビーチスポーツの普及啓発（用具貸し出し等）	市民局市民自治推進部市民自治推進課 043-245-5664  市民局市民自治推進部政推進課 043-245-5133  市民局生活文化スポーツ部文化振興課 043-245-5961  市民局生活文化スポーツ部スポーツ振興課 043-245-5965	【市民活動への支援の充実】 ・地域活動団体の活動支援 ワークショップ（R4）を踏まえ、こどもが地域に関わるきっかけとなるイベントを実施：2団体 各1回 町内自治会とNPO等のマッチング事業まちづくり交流会の開催：3回（中央区・若葉区） 町内自治会による多様な主体との連携活動支援補助金：4件 地域支援プラットフォームの構築：交流会の開催各3回（中央区・若葉区）、各区域域情報を発信するHPを開設 まちづくり応援寄附金： 登録団体数：49団体、寄付総額：9,376,776円 ・チーム千葉ボランティアネットワークの運営：登録者数2,390人  【千葉市芸術文化振興事業補助】 ・交付決定5件  【第22回千葉市芸術文化新人賞】 ・新人賞1人 奨励賞1人  【芸術祭の実施(R5プレ会期)】 ・ラウンドテーブル01 ・わたしの千葉市！テーマパークの模型を作ろう！ ・くふく ・かえっこin花見川団地 ・Slow Art Collective Chiba  ・ジュニア育成競技力向上事業 8団体 ・ジュニア育成プログラム 実施種目5種目 延参加者117名 ・ビーチスポーツ用具の貸し出し 172件 ・市ゆかりアスリートの広報（市政だより3月号、市HPでの情報発信） ・市ゆかりのアスリート支援制度策定	【市民活動への支援の充実】 ・地域活動団体の活動支援 町内自治会の活動支援 町内自治会とNPOのマッチング実施 町内自治会による多様な主体との連携活動支援補助金 地域支援プラットフォームの構築 まちづくり応援寄附金 ・チーム千葉ボランティアネットワークの運営  【文化芸術・スポーツ活動への支援、アーティスト・アスリート等の育成支援】 ・アーティストの新たな育成支援制度の内容検討 ・千葉市芸術文化振興事業補助金の新制度の検討、令和7年度分募集 ・第23回千葉市芸術文化新人賞の募集 ・芸術祭の実施内容の検討（実施計画の策定等）、プロジェクトの実施 ・市ゆかりのアーティストの効果的な広報手法の検討 ・トップアスリート・次世代アスリートの育成支援制度開始 ・市ゆかりのアスリート等の広報 ・ジュニア育成競技力向上 ・ジュニア育成プログラム ・バラスポーツやビーチスポーツの普及啓発（用具貸し出し等）
53	バラスポーツの推進	障害のある人もない人も共にスポーツを楽しむ環境づくりのため、バラスポーツや障害者への理解を深めるとともに、障害者のスポーツ活動の参加を促進し、継続したスポーツ活動につなげるよう支援します。	【バラスポーツの普及・啓発】 ・パラアスリート学校訪問、体験会・講座 ・大会等開催支援 ・障がい者スポーツ指導員の養成  【障害者のスポーツ活動への参加促進】 ・ちばしバラスポーツコンシェルジュ ・バラスポーツ振興補助金 ・オープンポッチャ大会 ・バラスポーツフェスタちば ・障害者スポーツ教室の検討  【環境整備】 ・千葉ポートアリーナの大規模改修 ・競技用車いすの貸し出し ・持続可能なバラスポーツの推進に向けた体制整備	市民局生活文化スポーツ部スポーツ振興課 043-245-5622	【バラスポーツの普及・啓発】 ・パラアスリート学校訪問、体験会・講座 ・大会等開催支援 ・バラスポーツ指導員の養成  【障害者のスポーツ活動への参加促進】 ・ちばしバラスポーツコンシェルジュの運営 ・バラスポーツ振興補助金 ・オープンポッチャ大会の開催 ・バラスポーツフェスタちばの開催 ・障害者スポーツ教室の開催  【環境整備】 ・屋外バラスポーツに関する基礎調査 ・競技用車いす等バラスポーツ用具の貸し出し	【バラスポーツの普及・啓発】 ・パラアスリート学校訪問、体験会・講座 ・大会等開催支援 ・バラスポーツ指導員の養成 ・バラスポーツ指導者育成  【障害者のスポーツ活動への参加促進】 ・ちばしバラスポーツコンシェルジュの運営 ・バラスポーツ振興補助金 ・オープンポッチャ大会の開催 ・バラスポーツフェスタちばの開催 ・バラスポーツ教室の開催  【環境整備】 ・競技用車いす等バラスポーツ用具の貸し出し
54	国際的・全国的競技大会の開催・誘致	スポーツを通じた地域の活性化を図るため、千葉ポートアリーナ等に国際大会や全国大会を誘致します。また、自転車競技と公営競技が融合した250競走の魅力発信するため、国際的・全国的な自転車競技大会をTIPSTAR DOME CHIBA(千葉JPFドーム)に誘致・開催します。	・TIPSTAR DOME CHIBA(千葉JPFドーム)における開催条件等の調査、所有者及び関係部局等との協議・調整、競輪開催日程の調整 ・競技団体と協議し、新たな大会の誘致 ・これまで開催してきた国際大会・全国大会の継続開催	市民局生活文化スポーツ部スポーツ振興課 043-245-5965  公営事業事務所 043-271-5111	・千葉シティトライアスロン大会の開催 参加者数1,204名、21組 ・JICF INTERNATIONAL TRACK CUP（クラス2） ・全日本大学対抗選手権自転車競技大会 ・全日本学生トラックレースシリーズ（第3戦・第5戦） ・関東自転車競技選手権大会 ・東京六大学対抗自転車競技大会	・自転車競技大会の誘致 ・施設所有者及び関係部局等の協議、調整 ・競輪開催日程の調整 ・競技団体と協議し、新たな大会の誘致 ・これまで開催してきた国際大会・全国大会の継続開催（講道館杯など） ・アジアトライアスロンパラカップの選手権の開催支援

市長マニフェストに関する取組み 令和5年度取組実績及び令和6年度取組内容

No.	取組名	概要	主な取組内容	担当課	R5取組実績	R6取組内容
55	eスポーツ、ストリートカルチャーやエクストリームスポーツの誘致等に向けた取組みの推進	地域経済の活性化や都市の国際的な認知度を高めるため、ストリートカルチャー、エクストリームスポーツ等を含めたイベント等を誘致し、開催を支援するほか、eスポーツの活用について研究し、普及に向けた取組みを検討します。	・スケートボード等とアート、ファッション、音楽等を融合したイベント開催に向けた支援体制の確立 ・イベント開催へ向けた「新たな助成制度の設計・運用」 ・フクダ電子ボードエリア等を活用した活動団体との協働 ・eスポーツの普及に向けた検討	市民局生活文化スポーツ部スポーツ振興課 043-245-5965  市民局生活文化スポーツ部文化振興課 043-245-5961  経済農政局経済部観光MICE企画課 043-245-5282	・X Games Chiba 2023を開催 来場者約3万人 ・グリーンMICE開催支援補助金を活用したeスポーツイベント 2件	・スケートボード等とアート、ファッション、音楽等を融合したイベント開催に向けた支援体制の確立 ・BMXやスケートボードなどのアクションスポーツの世界最高峰の競技大会である「X Games」の開催・支援 ・MICE開催に伴う補助制度の運用において、eスポーツなどの分野の誘致に重点化
56	都市アイデンティティの確立	市民が愛着と誇りを持ち、市外から見ても魅力のある都市となるよう、本市固有の歴史やルーツに根差した地域資源として「加曽利貝塚」「オオガハス」「千葉氏」「海辺」の4つを活用し、「都市アイデンティティ」の確立を目指します。	・都市アイデンティティ確立に向けた事業の実施（4つの地域資源の戦略的プロモーションなど） ・千葉開府900年に向けた検討・準備 ・千葉氏サミットの開催 ・市制100周年記念事業の実施	総合政策局総合政策部都市アイデンティティ推進課 043-245-5660  教育委員会事務局生涯学習部文化財課 043-245-5962	・都市アイデンティティ確立に向けた事業の実施 4つの地域資源商品開発へ向けた地域資源・クラウドファンディングセミナーの開催（セミナー：R6.3.2・参加者数25名、ワークショップ：R6.3.3・参加者数15名） 親子三代夏祭りにおける千葉氏コーナー出展（R5.8.20・参加自治体7自治体）他 ・千葉開府900年に向けた取り組み 千葉開府900年記念協議会の立ち上げ（R5.11.14）、推進計画の策定（R6.3.26） PR動画の制作（R5.8.4公開）や900日前カウントダウンイベントなどによる周知・機運醸成（R5.12.14） 第2回千葉氏子どもサミットの開催（R5.11.22・参加校3校）他	・都市アイデンティティ確立に向けた事業の実施 クラウドファンディングを活用した事業化支援 各種イベントでのプロモーション 他 ・千葉開府900年に向けた取り組み 千葉開府の日イベントの開催 ロゴマークやキャッチコピーの公募・選定 特設サイトの開設 他 ・郷土博物館の展示リニューアル ・千葉氏に関する史料調査 ・千葉氏に関する発掘調査
57	オオガハスを活かした地域づくり	本市固有の地域資源であるオオガハスを活かした都市アイデンティティの確立を目指し、開花70周年の記念事業を開催するとともに、多くの市民が将来に渡りオオガハスを身近に感じ、誇りを感じてもらえるような取組みを推進します。	・公共施設等での生育場所整備 ・大賀ハス開花70周年を契機とした市民協働の推進 ・オオガハスの魅力発信、ブランド化 ・地域や施設と連携したオオガハスの歴史的・文化的価値の向上	都市局公園緑地部緑政課 043-245-5753	・学校分根 ・ハスプランター展示・栽培 ・系統保存栽培管理 ・「ハス守さん」養成講座 ・大賀ハスマつり・夜ハス開催 ・千葉公園通り周知シート設置 ・ちはなちゃんのお誕生会開催 ・全国都市緑化かわさきフェア出展 ・オオガハス文化伝承事業 ・千葉公園及びしらす公園維持管理	・学校分根 ・ハスプランター展示・栽培 ・系統保存栽培管理 ・「ハス守さん」養成講座 ・大賀ハスマつり・夜ハス開催 ・千葉公園通り周知シート設置 ・ちはなちゃんのお誕生会開催 ・全国都市緑化かわさきフェア出展 ・オオガハス文化伝承事業 ・千葉公園及びしらす公園維持管理
58	新市民会館の整備、加曽利貝塚の整備・活用の推進	市民の多様な文化芸術ニーズに対応し、本市における文化芸術の中心施設とするため、市民会館の建替えを実施します。 また、加曽利貝塚については、来訪者の利便性向上や景観復元を目的とした史跡整備を行うとともに、史跡指定地内に建つ博物館の移転に向け、新博物館の整備に着手します。	・新市民会館の整備 ・史跡の整備 ・新博物館の整備 ・新博物館周辺整備（周辺道路等） ・新博物館の開館に向けた地域団体との協働の強化	市民局生活文化スポーツ部文化振興課 043-245-5262  教育委員会事務局生涯学習部文化財課 043-245-5960	・市民会館の運営手法等を検討するためのサウンディング調査 ・千葉市民会館再整備基本設計と件調整等支援業務 ・史跡の整備 第2期史跡整備基本計画調査検討 貝層保護のための樹木伐採 便益施設入口階段設置等 ・新博物館の整備 建設用地の確保 新博物館と史跡を結ぶ周遊ルートの予備設計	・市民会館再整備に関する協議 ・史跡の整備 第1期史跡整備事業報告書刊行、貝層保護のための樹木伐採 ・臨時駐車場用地取得 ・新博物館の整備 新博物館整備用地の土壌汚染対策、用地保全管理

市長マニフェストに関する取組み 令和5年度取組実績及び令和6年度取組内容

ビジョン5 対話と現場主義。立ち止まらない行財政改革。デジタル化と真に市民の役に立つ寄り添う市役所に

約束10 すべての区で、「市長と語ろう会」を実施するほか、財政健全化に立ち止まらず不断に取り組みます。

No.	取組名	概要	主な取組内容	担当課	R5取組実績	R6取組内容
59	市民との対話の充実、オープンデータの推進	「市長と語ろう会」や「ティーミーティング」を開催し、市政に関する様々なテーマについて、市民に説明し意見交換を行います。 また、市民・企業・NPO・市民団体等による新たなサービスの創出や、政策立案等に用いたデータの公開による市政の透明性・信頼性の向上を図るため、市保有データをオープンデータとして利活用しやすいデータ形式にて積極的に公開します。	【市民との対話の充実】 ・市長と語ろう会（一般向け、地域団体向け、オンライン）の定期開催 ・NPOなど地域団体とのティーミーティングの実施  【オープンデータの推進】 ・データ利活用のニーズ把握や庁内の意識向上など、市保有情報のオープンデータ化を更に推進 ・既存オープンデータを利活用しやすいデータ形式に変換 ・オープンデータを活用した民間サービス等の創出を推進	総合政策局市長公室広報広聴課 043-245-5298  総務局情報経営部業務改革推進課 043-245-5112	【市民との対話の充実】 ・市長と語ろう会（一般向け）：10回開催 参加者129人（市内各区で開催） （地域団体向け）：8回開催（8団体）参加者165人（オンライン） 2回開催 参加者47人 ・ティーミーティング：14回開催 参加者91人  【オープンデータの推進】 ・本市のオープンデータ総数：2,097件（R6.4.16現在） ・オープンデータの活用事例： 地図上で保育所等の場所が分かる「ちばこどもマップ」 地域にある授乳室やおむつ交換台の場所を検索できるアプリ「ママパパマップ」 ・大学、公的研究機関等の連携の事例： 千葉大学と令和4年11月に共同研究に関する協定を締結	【市民との対話の充実】 ・市長と語ろう会（一般向け、地域団体向け、オンライン）の定期開催 ・NPOなど地域団体とのティーミーティングの実施  【オープンデータの推進】 ・本市が保有するデータの活用による新たなサービスの創出に向けた取組の推進 ・将来的な「確かな根拠に基づく政策立案」（EBPM）に向けて、大学等研究機関の知見・ノウハウを活用したデータ分析や分析結果を施策へ反映する取組の推進
60	持続可能な財政運営	（仮称）中期財政運営方針を策定し、将来にわたり持続可能な財政構造の確立を目指します。	・（仮称）中期財政運営方針に基づく持続可能な財政運営	財政局財政部資金課 043-245-5078	・中期財政運営方針に基づく持続可能な財政運営 ・なお、当該方針については、策定後における物価高騰等の環境の変化を踏まえ、現状に即したものとすべく、令和6年2月に見直しを行った	・見直し後の中期財政運営方針に基づく持続可能な財政運営

約束11 市役所への手続のオンライン・デジタル化を進めながら、困ったときには寄り添える真に市民の役に立つ市役所にします。

No.	取組名	概要	主な取組内容	担当課	R5取組実績	R6取組内容
61	市役所への手続のデジタル化	市民等の来庁や支払い等の手間を軽減するため、市役所への手続の原則オンライン化や手数料等のキャッシュレス化などのデジタル化を推進します。	・市役所への手続の原則オンライン化 ・キャッシュレス化の推進（市窓口におけるキャッシュレス決済の順次導入）	総務局情報経営部業務改革推進課 043-245-5112	・市役所への手続の原則オンライン化 オンライン手続が可能なサービスの提供 オンライン化未対応手続の現状調査・分析 オンライン手続利用率の向上 ・キャッシュレス化の推進 キャッシュレス決済導入手法の検討	・市役所への手続の原則オンライン化 各種申請や届出等手続をインターネット上で行えるサービスを提供し、行政手続における市民の利便性向上 ・キャッシュレス化の推進 市窓口におけるキャッシュレス決済の拡充
62	専門性や課題解決力を養う人材育成の推進	公務員に必要な知識・技能の習得や専門性の高い課題に対する解決力を養うため、本市に求められる人材に必要な能力等を整理し、研修の充実を図ります。	・千葉市人材育成・活用基本方針の見直し ・LMS（Learning Management System、学習管理システム）導入による職員研修の充実 ・部門研修・派遣研修の充実	総務局総務部人材育成課 043-245-5651	・LMSの活用（58課程） ・部門研修に関する研修履歴の管理 部門研修におけるLMSの活用（36課程） ・市町村職員中央研修所の「災害に強い地域づくりと危機管理」「ICTによる情報政策」「政策の最先端」、千葉県自治研修センターの「データ活用向上研修」に職員を派遣	・LMSの活用 ・各局における部門研修のさらなる充実 ・派遣研修の対象となる専門課程（ICT等）のさらなる充実